

ウクライナの侵略に関する国際消費者機構の声明

2022年3月11日

国際消費者機構（CI）は、誠実さ、粘り強さ、情熱を持って影響力を行使し、より安全な世界を確保し、あらゆる場所で消費者の権利を擁護します。公平性、安全性、人権の尊重の原則は、私たちの仕事に不可欠です。

したがって、私たちは、ウクライナに対するロシアの攻撃、犯された残虐行為、および偽情報の拡散を深く非難します。私たちは、影響を受けたすべての人々との連帯を表明し、平和につながるための人道的および外交的努力を全面的に支援します。

難民への支援の提供

戦争が始まって以来、何百万人もの人々（そのほとんどは女性、子供、高齢者）が安全な避難所を求めてウクライナから逃げてきました。彼らが新しい生活環境に適応するための包括的な専門知識と支援を提供されることが重要です。私たちはメンバーと協力して、政府に必要な支援を提供し、消費者団体がこれらの取り組みを支援できる場所を特定するよう促します。

公正で安全で持続可能な市場のために

戦争はすでに、エネルギーや食料から健康、モビリティ、金融に至るまで、さまざまな分野の人々の生活に大きな影響を及ぼしており、今後も影響を及ぼし続けるでしょう。それは、すべての人の持続可能な開発目標に向けた進展を妨げるでしょう。

メンバーと一緒に、私たちは引き続き消費者体験を代表し、市場の人々を保護し、力を与えるための最善の方法を推奨し、すべての人にとってより安全で、より公平で、より持続可能な市場を求めます。

私たちのメンバーが影響を受ける人々をどのように支援しているか

私たちのメンバーは、危機の影響を受けたウクライナの人々と消費者を助けるために行動を起こしています。これには、主要分野全体の消費者への影響を強調すること、救援活動を支援するための対策を提唱す

ること、難民に役立つ情報を提供すること、そして個人がどのように支援できるかについての情報が含まれます。

これらの取り組みの選択肢は次のとおりです。

- VZBV は、難民とボランティアの両方をサポートするための情報と、複数の言語での消費者情報リソースを提供します。VZBV はまた、危機の結果として消費者が何を期待できるか、そして航空旅行者が知っておくべきことを概説しました。

VZBV - ドイツ消費者団体連盟: VZBV は、41 のドイツの消費者団体の傘下グループです。その主な目的の 1 つは、「商品やサービスの生産、特性、品質に関する透明性を向上させる」ことです。グループは、国内および欧州レベルでキャンペーンを行っています。ドイツ連邦の 16 州(Verbraucherzentralen)の消費者センターがアドバイスを提供しています。VZBV は、エネルギーとモビリティに関するチームを運営しています。

- Que Choisir が要求する銀行は、ウクライナに送金されたお金の関税と手数料を緊急に撤廃します。

Que Choisir : フランス消費者協会

- ASUFIN は、ウクライナでの武力紛争で、現金がなくなることはないことを強調しています。

ASUFIN : 金融ユーザーの保護を専門とする 2009 年に設立された非営利団体です。これは、消費者およびユーザー協会の国家登録簿(REACU)に登録されており、ヨーロッパの BEUC およびファイナンスウォッチ協会の一部です。

- LaOrganizacióndeConsumidoresyUsuarios (OCU) は、電気料金への潜在的な影響を調査しています。

OCU: スペインの消費者団体 : 通常、さまざまな消費者の問題について消費者に知らせることを目的としたさまざまなアクションやキャンペーンを実行。

- Sveriger Konsumeter は、スウェーデンの貯蓄が紛争をどのように支えているかを示す公正な財務ガイドを作成しています。

Sveriger Konsumeter : スウェーデン消費者協会 スウェーデンと EU における消費者の役割を強化するための EU の加盟に関連して 1992 年に設立されました。創業以来、私たちはヨーロッパの消費者団体 BEUC と世界的な消費者団体であるコンシューマー・インターナショナルで活動してきました。

より多くのメンバーがニュースや活動を共有するにつれて、更新し続けます。